

だいこん調査方法

1 試験区ならびに調査対象株数及び面積

項目	必要株数(最少株数)	必要面積(最小面積)*
試験区(1区当り)	2列×20株(16株)=40株(32株)	7.2㎡(5.8㎡)
調査対象(1区当り)	生育調査等	20株(16株)
	収量調査等	20株(16株)

*栽植密度を畝幅75cm×株間24cm、a当り555株としたときの面積

2 生育調査

項目			調査基準	ランク	調査	単位	最小桁 調査	
発 芽	始		発芽を見た日	C	観察	月日	1	
	期		40～50%が発芽した日	A	観察	月日	1	
	揃		80～90%が発芽した日	C	観察	月日	1	
	良 否		発芽揃、勢の程度を観察	B	観察			
欠株率(間引き後)			欠株数/栽植株数×100	A	観察	%	1	
生 育 (播種後30日頃)	葉 長		最大葉で測定	C	測定	cm	1	
	葉 数		長さ2.5cm以上の展開葉で測定	C	測定	枚	1	
草 姿			[立]5～[伏]1	A	観察	指数	1	
葉 色			[濃い]5～[淡い]1	A	観察	指数	1	
草 勢			[弱い]5～[強い]1	A	観察	指数	1	
生育 障害の 発生率	外部 障害	抽 台	始	肉眼で花芽の分化が確認された日	B	観察	月日	1
			期	全体の40～50%抽台した日	B	観察	月日	1
			割 合	収穫直前の全株に対する抽台株 (発生株数/(栽植株数-欠株数))×100	A	算出	%	1
			程 度	0:無 花芽分化が認められない 1:微 花茎伸長開始前 2:軽 花茎長10cm以内 3:中 花茎伸長期 4:甚 開花～結実	A	観察	指数	1
	病虫害	軟腐病	障害の種類別に	A	算出	%	1	
			{発生株数/(栽植株数-欠株数)}×100	A	算出	%	1	
			モザイク病	A	算出	%	1	
			ゴミムシ等	A	算出	%	1	
	内部 障害	病虫害	パーティリウム	A	算出	%	1	
			黒点病	(発生株数/調査株数)×100	A	算出	%	1
			横縞症	A	算出	%	1	
			ダイコンバエ等	A	算出	%	1	
	生理 障害	ス入り	障害の種類別に	A	算出	%	1	
			(発生株数/調査株数)×100	A	算出	%	1	
空洞症			A	算出	%	1		
赤心症			A	算出	%	1		
収穫時	葉 長		最大葉で測定	B	測定	cm	1	
	葉 数		長さ2.5cm以上の展開葉で測定	B	測定	枚	1	

3 収量調査(a当り)

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁調査	
収穫根数	規格内	LL	出荷基準による 1200g以上	B	算出	株/a	1
		L	900～1200g未満	B	算出	株/a	1
		M	700～900g未満	B	算出	株/a	1
		計		A	算出	株/a	1
		割合	$(LL \sim M / \text{計}) \times 100$	B	算出	%	1
	規格外	小根	700g未満	B	算出	株/a	1
		曲根		B	算出	株/a	1
		岐根	分岐した根	B	算出	株/a	1
		裂根	肩ワレ、胴ワレ	B	算出	株/a	1
		計		A	算出	株/a	1
	外部障害	抽台		B	算出	株/a	1
		病害虫	軟腐病、萎黄病、モザイク病等	B	算出	株/a	1
	内部障害	病害虫	パーティシウム黒点病、横縞症、ダイコンハエ等	B	算出	株/a	1
		生理障害	ス入り、空洞症、赤心症、黒心症等	B	算出	株/a	1
合計		(総根数)	A	算出	株/a	1	
規格内率		$(\text{規格内根数} / \text{総根数}) \times 100$	A	算出	%	1	
規格別収量	規格内	LL	出荷基準による 1200g以上	C	算出	kg/a	1
		L	900～1200g未満	C	算出	kg/a	1
		M	700～900g未満	C	算出	kg/a	1
		計		A	算出	kg/a	1
		割合	$LL \sim M / \text{計} \times 100$	C	算出	%	1
	規格外		内訳同上	C	算出	kg/a	1
	外部障害		内訳同上	C	算出	kg/a	1
	内部障害		内訳同上	C	算出	kg/a	1
	合計		(総収量)	A	算出	kg/a	1
	規格内率		$(\text{規格内収量} / \text{総収量}) \times 100$	B	算出	%	1
葉重		規格内および規格外株の葉重を測定	B	算出	kg	1	
T/R率		$(\text{葉重} / \text{総収量}) \times 100$	B	算出	%	0.01	
平均一根重		規格内収量 / 規格内根数	A	算出	g	1	

